おやすみまえに ちいさなてんしたちへ









バランスもとまために



リリミメイはとてもなかまし、 ようちよんでも、いっちいいしょで、たりしそうでした。 ある前、シャラティという前しい夜の子がようちよんにやってきました。 よだりは、シャラティのおせむもしておけるうと思います。 (いっしょにはみだりは、デラまにのの「し、リリがいうと こんだは、メイがいいました。「お飲かもしようまね」 「デラオにのるんだ」(いゃよ、お飲かもしょうまね」



こうして、シャンティには新しいふたりのともだちができたのに、 リリとメイは行もきかなくなってしまいました。 つぎの日、ひとりのビエロがようちえんにきて、ちいさないすにすわろうと しましたが、どうしてもたおれてしまいます。「なんだ、これは?」と ピエロがいうと、リリがわらいながらいいました。 「だって、そのいす、あしが二本しかないんだもの!」 「三本だけ?」といいながら、もういちどビエロがすわってみると、 また、ごろん。 こどもたちはわらいころげて「あしは三本なくちゃあね。」 そこでピエロは、ボケットから、ほうを一本出して、いすのささえにしました。 「こんどはだいじょうぶ」と、 みんな手をたたいてよろこびました。 そのとき、「いいことがある!」と、 シャンティがいいました。



「当人でなる。 できないあそび!」リリとメイとシャンティは、 つまさきをくっつけて立ち、手をつないで、できるだけ外がかへからだを そらせました。「そーら、当人で、いいパランスだね。」

ソフィーのしっぱい

ソフィーはとてもよく気がらく気のき、かべをはってるアリがいる。とか、 おさらにいくつのまのかある、とか……。 ある前、あまりいろいろなことに 気をちらして、ようらよんに前くのがおそくなってしまいました。 「そあ、買くしたくして」と、おかあさんがいいました。





ソフィーはいそいで したくしょうとしたけれど、やはり ねいぐるみのくまさんたちが、いつものとおりにならんでいなかったり、 ひざがらっと茶(なっていたりと、気になることばかり。 やっと、やっと、しゃんがができて採品的とした。



ちょっと おてつだい



ある。おかあちんがケイクイにいました。「ケーキをやくから、 ちょっとてつだってくれる。 できあがったら、天きく切ってあげるわ。」 ケイティはおっっとてつだってもらいながら、ピンタの主会が作るけました。 つなは、ちょっとてつがってもらった。となからかからそりだけました。 それから、ちょっとてつだってもらった。となかからかかをとかけました。





しばらくしてケーキができるがりました。おかあさんはやくそくとおり戻さく 切って、ケイティのおさらにのせました。「たくさんおでつだいありがとう。」 それからジョシェのためにも、おなじくらい戻さなケーキ。 ケイティがいました。「あ、ずるい」 かたしはたくさんでつだったのに、

ジョシュはおしまいにほんのちょっとだけ。もっとちいきなケーキでいいわ!] おかあさんはケイティをやさしくだきしめていいました。 「そう、あなたはよくてつだってくれたわね。でもジョシュも、できることを

したのよ。 かたりともだーいすき (] ジョシュは、 じぶんのぶんがぜんぶ食べ きれなくて、 ちょっとてつがってもらいました。 ケイティはさいごピーキの こなまで、 ぜーんぶ食べました。 おてつだいしてもらわないで……。

